

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 26 年 2 月 27 日 (2014.2.27)

【公開番号】特開 2012-169139 (P2012-169139A)

【公開日】平成 24 年 9 月 6 日 (2012.9.6)

【年通号数】公開・登録公報 2012-035

【出願番号】特願 2011-28844 (P2011-28844)

【国際特許分類】

H 0 5 B 33/02 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

H 0 5 B 33/04 (2006.01)

H 0 5 B 33/06 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 33/02

H 0 5 B 33/14 A

H 0 5 B 33/04

H 0 5 B 33/06

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 1 月 10 日 (2014.1.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の封止領域と、第 2 の封止領域と、ヒンジ部と、を有し、

前記第 1 の封止領域は、第 1 の発光素子と電氣的に接続された端子が引き出され、前記第 1 の発光素子を封止材の間に袋状に封止し、

前記第 2 の封止領域は、第 2 の発光素子と電氣的に接続された端子が引き出され、前記第 2 の発光素子を封止材の間に袋状に封止し、

前記ヒンジ部は、折り曲げ可能であり、前記第 1 の封止領域と前記第 2 の封止領域との間に設けられ、

前記第 1 の発光素子および前記第 2 の発光素子はそれぞれ一対の電極の間に発光性の有機化合物を含む層を有することを特徴とする発光パネル。

【請求項 2】

請求項 1 において、

前記ヒンジ部に沿って、前記第 1 の発光素子または前記第 2 の発光素子と電氣的に接続された配線が設けられたことを特徴とする発光パネル。

【請求項 3】

請求項 1 において、

前記ヒンジ部を横断して、可撓性を有し、前記第 1 の発光素子または前記第 2 の発光素子と電氣的に接続された配線が設けられたことを特徴とする発光パネル。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれかーにおいて、

前記ヒンジ部は、切断可能であることを特徴とする発光パネル。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 3 のいずれかーにおいて、

山折りの前記ヒンジ部と、谷折りの前記ヒンジ部と、を有し、
二重波型可展曲面を有することを特徴とする発光パネル。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 4 のいずれかーにおいて、
前記ヒンジ部が屈折して、立体に変形可能なことを特徴とする発光パネル。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 4 のいずれかーに記載の発光パネルの前記ヒンジ部が屈折して形成された
ことを特徴とする立体状の照明器具。